

むつみ荘だより

2026年5月 第337号

医療法人社団 なごみ会 老人保健施設 あさぎりむつみ荘
〒673-0852 明石市朝霧台 1120-4 TEL (078)911-0623
なごみ会ホームページ <http://www.nagomikai.or.jp/>



「**地産地消**」よりも「**旬産旬消**」推奨

原油 (燃料・発電・化学原料等) 使い道 **優先順位**

特に**化学原料** ナフサ**重要**



医療法人 なごみ会
理事長 横山 光昭

原油価格が非常に高騰して不安定化しています。「**原油不足を機に生活見直そう!**」という事が非常に重要です。まず食料品で「地産地消」が推奨されていますが、年中食べることができる野菜や苺類等は、燃料を使ってビニールハウス等で育成する。なんと贅沢極まりない。**旬の時期に収穫された野菜や果物を「地産地消」よりも「旬産旬消」を優先すべき**です。旬産旬消とは 露地栽培された農作物を旬の時期に消費する考え方で、食材が一年で最も出回り 新鮮で美味しく栄養価が高い時期。更に 環境への配慮として、旬でない時期のハウス栽培に比して二酸化炭素の排出量も抑制する地球温暖化防止という利点もある。メリットはシンプルです。①燃料ほぼ不要 (加温・冷蔵削減) ②栄養価が高い ③価格が安定しやすい ④フードロス減少等々。これは「節約」ではなく**エネルギー戦略**です。

中東情勢の緊迫感に伴い原油価格の高騰は、石油及び石油製品の流通も阻害され、社会インフラにまで影響を及ぼしてきており、特に医療・介護現場では**シリンジ (注射筒)・輸液セット・ゴム手袋・紙オムツ・洗剤等にも影響**してきています。現在 サプライチェーンの現場では石油製品の大幅な値上げや新規受注の停止も起きています。国は災害時の備蓄製品の放出も考慮して貰いたいものです。